

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2021
秋号

通巻：238号
発行：2021.9.25



学校での防災に

特集

関する取り組み

(2021年度三重ユース事業)



いつ、どこで起きるかわからない災害。近年、大規模な災害の発生も増加しています。

ハザードマップを見たり、避難訓練をしたり、避難グッズを詰めたリュックを用意したり…。被害を減らすためには、日頃から対策を行っておくことが重要です。今回は、三重ユース事業として、「防災」に関する取り組みを行っている学校・団体にお話を伺いました。



三重県立盲学校

災害用備蓄品試食会

教頭：やすだ のぶまさ 安田 伸昌さん

栄養教諭：どうじ けいこ 道治 茎子さん

● 活動のきっかけ

保護者の方々から「学校の備蓄品を増やしてほしい」「家でなかなかできないので災害訓練をしてほしい」との声が上がったことがきっかけです。

学校に災害用の備蓄食があるので、期限が近づいてくると給食で年に何度か出していましたが、それではなかなか防災意識が根付かないため、学期の終わりに訓練を実施しています。

● 活動目標と内容

目標は、災害時に生徒も大人も落ち着いて動けるよう、どんな行動ができるかを考えて、経験を積んでいくことです。

毎年、児童生徒たちが食品や着替えといった災害用備蓄セットを準備しています。災害発生時の環境変化に備えるため、今年度は2回、給食の代わりにこの備蓄食を食べる訓練を行っています。

● 活動で生じた変化や参加者の反応

当初は、食料はあっても食器がない、といったこともありました。今では、使い捨ての食器を持ってくるようになり、回数を重ねることの大切さを感じています。

また、体験することで、次にこうしよう、といった生徒自身の気づきもあります。キャンプ道具を次回に持ってきてよいのか、固形燃料があれば温められるね、といった会話が生まれるようになりました。

備蓄食も、栄養バランスなどを考えてフルーツや焼き鳥などの缶詰を追加するなど、生徒も職員も訓練ごとに変化しています。

● 活動に対する思い

避難経験がない人も、このような体験をしておくことで意識が変わり、食事以外にも備えがいるのではないかと考えるようになりました。

今後も繰り返し実施することで、防災への意識を維持していきたいと考えています。

● 課題や今後について

学校での訓練をしていますが、災害はいつ発生するかわかりません。電話やメールが使えない場合はどう連絡を取るかなど、様々な状況を想定し、状況に合わせた対応をして、課題をクリアしていきたいです。

また、コロナ禍で感染症対策も重要になっています。避難所も広い場所が必要になるため、今まで以上に考えなければいけないことがあると感じています。

関する取り組み

(2021 年度三重ユース事業)

教頭先生：新型コロナウイルス感染症対策の関係で、災害対応に関する部分が十分にできていないのが現状です。新型コロナウイルス感染症対策と災害対応のバランスを考えなければなりません。職員の声もあわせて、課題や問題を整理し、色々想定し訓練していく必要を感じています。

道治先生：今後も活動を続け、毎回同じことをするだけでなく、レベルアップしていくことが大切です。南海トラフ地震なども意識し、自分を守りながら、生徒の命を守るという使命があるので、日頃から常に災害について考えなければならぬと思っています。



名 称	三重県立盲学校
校 長	もりた だいすけ
設 立	1919 年 12 月 2 日
児童生徒数	19 名
H P	http://www.mie-c.ed.jp/sbmie/
メールアドレス	sbmiead@mxs.mie-c.ed.jp
電話番号	059-234-2188
FAX番号	059-234-2189



三重大学学生サークル DOT ペット防災カレンダー

代表：浦野 未来さん

● 活動のきっかけ

DOTは2019年6月に設立し、犬猫の保護団体のお手伝いをメインに活動をしていました。多くの方々と交流する中で、「ペットと防災」の活動をしている方に出会いました。南海トラフ地震のことも頭の隅にあり、災害時のペットの取り組みの必要性を感じたことがきっかけです。自分たちがこの取り組みを知らなかったように、「まだ知らない人」に知ってほしいと思い、2019年の夏頃からペット防災の活動を開始しました。



● 活動目標と内容

「ペット防災カレンダー」を作成しています。飼い主とペットが災害に備えて何を準備し、どう避難したらよいかの流れやポイントを、カレンダーと併せてまとめています。今年は10～11月の完成を目標に、飼い主さんたちと話し合いを重ねながら作成しています。避難所へ避難する場合や、自宅で待機する場合など、様々な状況に対応できるような情報を載せています。

最終的な目標は「災害時にペットも飼い主もどちらも無事であること」です。そのために、まずはより多くの人にペット防災について知ってほしいです。

● 活動で生じた変化や参加者の反応

カレンダーを見てくださった人の中には「良かった」という声も、「自分には難しすぎる」という声もありました。住んでいる場所や飼っているペットの数など、それぞれに個別の悩みがあり、さらに多くの声を集めることが大切だと実感しました。

また、活動を通じて自分自身も防災について考えるようになりました。ニュースなどで見る災害を他人事ではなく、自分事として考えるようになったことが大きな変化です。

● 活動に対する思い

防災・災害というテーマは重くなりがちだと感じます。もちろん真剣に考えなければならないのですが、思い詰めすぎると疲れてしまうし、もっと楽しくペットと防災について学べたら良いのになと考えています。より多くの人々が楽しく参加できるようにはどうしたら良いかを第一に考えながら活動しています。

● 課題や今後について

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、災害時に「人」が重視される状況が加速しているので、「ペットと人の共生」という点をいかに大切にするかが課題です。

また、ペット防災の取り組みを続け、情報をより多くの人に伝えていくためには、仲間が必要だと感じます。今後はペット事業に関心がある企業・団体・個人などと繋がれたらいいなと思っています。



団体名	みえだいがくがくせいさーくるどっと 三重大学学生サークル DOT
代表	浦野 未来
設立	2019年6月
会員数	16名
H P	https://dotanimals.jimdofree.com/
Facebook	@dot.animals.mie
Twitter	@dot_mie
メールアドレス	dot.animals.mie@gmail.com



四日市 東日本大震災支援の会

代表：鬼頭 浩文さん（四日市大学総合政策学部 教授）

● 活動のきっかけ

東日本大震災の時、学生が支援に行きたいと言ったことがきっかけです。被災地の様子を見ながら、情報収集や参加の声かけを行い、資金面等の調整をして、2011年5月に現地に行きました。当初は一度の活動で終了する予定でしたが、支援に行った東松島市は、家屋は残っていましたが土砂や浸

水の被害を受けており、復旧に時間がかかる状態であったため、継続してボランティアに入りました。

7月頃に一般のボランティアが急増し、一旦活動は終了となりましたが、仮設住宅が建ち始めた時期からまた現地と連絡を取り始め、状況を見に行くなど継続して復興に関わっています。

● 活動目標と内容

被災地での災害ボランティア活動や、仮設住宅でのサロン活動等を行っています。現在は四日市市の消防本部と連携して学生消防団の活動も行っています。普段は防災啓発などを行っています。災害が発生した場合には、避難所運営の支援や、社協と連携して災害ボランティアセンターの運営を行います。

● 活動で生じた変化や参加者の反応

仮設住宅でのサロン活動が、被災者の孤立解消に大きな役割を果たしました。これまでも同じような活動はあったけど参加してこなかった、という方にも来ていただくことができ、地域に溶け込むきっかけの場となりました。コミュニティ形成に悩んでいた現地の方の信頼を得ることができ、良い関係を築くことができています。

また、被災者と関わるうちに、人に寄り添う仕事がしたいと葬儀関係の職に就いた学生もいます。この活動が、学生の社会人としての方向付けのきっかけとなっています。



● 活動に対する思い

私の主な役割は、活動ができるように枠組みを作ることや、現地の社協とのやり取りです。現場は学生に任せるようにしています。被災者に寄り添うことが願いであり、学生たちも同じ思いを持っています。人の役に立っていることを実感し、その後の人生観にも影響を与えていると思います。

また、継続して参加している学生が成長し、次の世代に引き継ぐ好循環ができています。それを見て、私も頑張ろうと思いますし、被災者の気持ちや学生の成長にもプラスになっているかなと思います。

● 課題や今後について

課題は、新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか現地と行き来ができないことです。現在はZoomの使い方を現地の方にレクチャーし、オンラインで講演などを行っています。今まで来てもらうのが大変だった高齢の方にも出演してもらいやすいというメリットもあります。今後もオンラインを使って様々な活動を行っていきたいです。



団体名	四日市東日本大震災支援の会
代表	鬼頭 浩文
設立	2011年4月1日
会員数	約30名
H P	https://www.yokkaichi-u.ac.jp/yokkaichi-info/bousai
Facebook	@saigai.shien
メールアドレス	kito@yokkaichi-u.ac.jp



おわりに

3団体の活動取材して、改めて日頃から備えておくことや、災害を自分の周りでも起こりうることで考えることの大切さを感じました。

人それぞれ置かれている環境は異なるため、自分の状況に合わせた備えをしておく必要があります。まずはハザードマップや避難経路の確認など、取り組みやすいところから始めて防災意識を高めていきましょう。

SDGs (エスディージーズ) の話

馬野川小水力発電所

2019年に伊賀市奥馬野で馬野川小水力発電所※の稼働が始まりました。

今回は、再生可能エネルギーの発電事業を通じて地域社会に貢献する取組を続けているみえ里山エネルギー株式会社代表取締役の松崎将司さんに発電事業と今後の地域社会への関わりについて、お話をうかがいました。

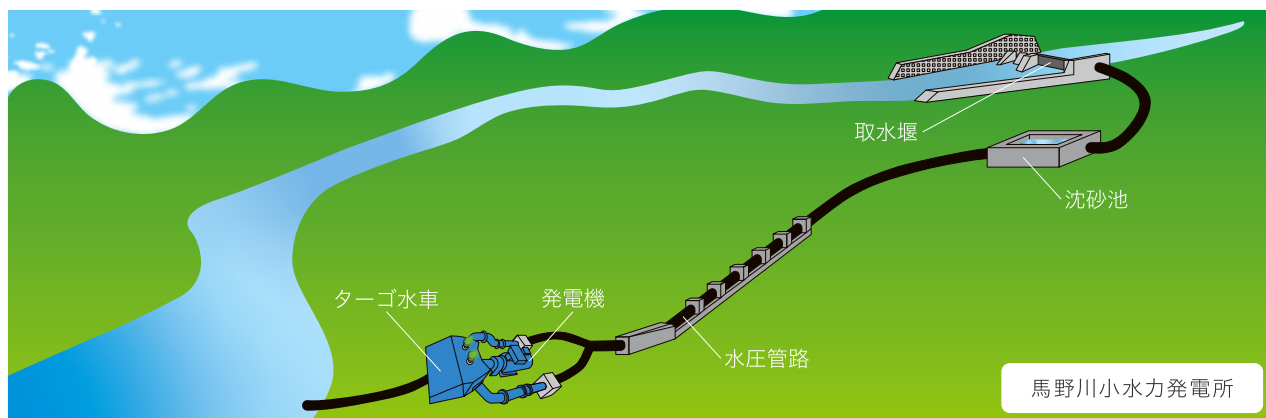
※小水力発電とは 河川など水の流れによるエネルギーを利用し、ダムなど大規模構造物を必要とせずに水車を回して発電する方法。主に出力1000kw以下の比較的小規模な発電施設を「小水力発電」と呼ぶことが多い。



約60年ぶりの復活

伊賀市奥馬野では大正時代から地域を流れる馬野川を利用した水力発電所が操業していました。しかし、昭和33年に老朽化などを理由に廃止になりました。この馬野川に三重大学や地元地域協議会が協働して馬野川小水力発電所を約60年ぶりに復活させました。現在中心となって発電所の運営を行っているのがみえ里山エネルギー株式会社です。

馬野川は特別天然記念物のオオサンショウウオやヤマメが生息する清流です。発電所を復活するにあたり、オオサンショウウオが生息しているため文化庁の認可が必要となり、松阪市で活動する市民活動団体の協力を得て調査を行いました。完成後も5年間は継続して調査を行っていく予定です。地域協議会と連携して実施しているヤマメの発眼卵放流も拡大していくことを考えています。



現在

馬野川小水力発電所の設備は、カメラの設置や監視システムの導入により日常的なメンテナンスが従来の設備に比べて少なくなっていますが、台風などが起こった場合はその都度メンテナンスが必要です。技術上は、オンオフを遠隔操作できますが、最終的には人が確認する仕組みのため、設備の回復作業は現場で行うように設定しています。

発電された電力はみんな電力株式会社に供給され、再生可能エネルギーを使用したい契約者へと販売されています。

みんな電力株式会社では「顔の見える電力」として、発電方法や発電場所など電気の生産者の情報を発信しており、契約者は自分が今どこで生産された電気を使っているかを知ることができます。現在、北伊勢信用金庫・スターバックスコーヒーベイスクエア津店・赤坂サカスなどで馬野川小水力発電所の電気が使われています。



ターゴ水車

これから

みえ里山エネルギー株式会社では、地域の子ども達に貴重な地域資源である馬野川から電力を得ている、地産地消のエネルギーを生み出している、というお金ではない価値を知って欲しいと、地域協議会などと協力して教育委員会や伊賀市に働きかけ、2021年5月から馬野川小水力発電所で作られた電気を地域の小中学校で使用するようになりました。今後は小中学校で小水力発電や馬野川についての出前授業などを行いたいと考えています。

また、売電で得た収益の一部を基金として積み立て、地域で活用することも考えています。新型コロナウイルス感染症の影響で話し合いの場を持つことが難しくなり、当初の予定より時間はかかりましたが、地域に必要とされていることは何か、そのためには基金をどう活用していくべきなのか、地域の声を聞いて検討しています。

これらの取り組みを、自分たちだけのものにするのではなく、県内外で発電事業を行っている組織へ広げていけるようなモデルケースにしたい、と考えています。



馬野川

三重県災害ボランティア支援等基金をご存じですか？

- 三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金 -

三重県では、地震や台風等による大規模な災害が発生した時のボランティア活動を支援するため、「三重県災害ボランティア支援等基金（正式名称：三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金）」を設置しています。

県内・県外の災害時に、被災地又は被災者への継続的な支援活動を行うNPO等の団体を募集し、基金から30万円を上限として活動経費を補助します。

事業の詳細はこちらをご覧ください。



<https://www.pref.mie.lg.jp/NPO/83263030760.htm>



災害ボランティアへの支援は県民のみなさまからの寄附が原資です。「三重県災害ボランティア支援等基金」への寄附をよろしくお願いいたします。寄附に関する詳細は、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。
なお、個人で寄附をされる場合は「三重県ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）」を利用して行うことができます。

また、三重県は平常時から、さまざまな専門的知見・ノウハウを有するNPO等と協定を締結し、県内での災害時に、その高い専門性やノウハウを生かして被災地又は被災者への支援活動を行えるよう、基金から120万円を上限として支援する事業を行っています。

三重県ふるさと応援寄附金
の手続き方法の詳細は
こちらをご覧ください。



<https://www.pref.mie.lg.jp/FURUSATO/index.htm>

事業の詳細はこちらをご覧ください。



<https://www.pref.mie.lg.jp/NPO/81207030762.htm>



お問い合わせ先

三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課 NPO 班

TEL 059-222-5981

FAX 059-222-5984

MAIL seiknpo@pref.mie.lg.jp



新着図書紹介 1

ティール組織

マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現

フレデリック・ラルー

2

伝わるデザインの基本 増補改訂3版

よい資料を作るためのレイアウトのルール

高橋佑磨／片山なつ

4

エクセル方眼紙で文書を作るのはやめなさい

「他人の後始末」で、もうだれも苦しまない資料作成の新常識

四禮静子

3

考えよう! やってみよう! フェアトレード

③日本のフェアトレードの現状ときみにもできること

渡辺龍也(監修・著)／こどもくらぶ(編)

5

持続可能な地域のつくり方

未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン

寛裕介



6

マイノリティデザイン

「弱さ」を生かせる社会をつくる

澤田智洋

8

「利他」とは何か

伊藤亜紗／中島岳志／若松英輔
園分功一郎／磯崎憲一郎

10

コミュニティ・オーガナイズング

ほしい未来をみんなで創る5つのステップ

鎌田華乃子

7

チャリティの帝国

—もうひとつのイギリス近現代史—

金澤周作

9

市民の日本語

NPOの可能性とコミュニケーション

加藤哲夫

こちらの2次元コードから「新着図書」
の詳しい情報をご覧ください。



information

リユースPC寄贈プログラム公募開始!

【お知らせ】

三重県内を拠点に活動する市民活動団体のみなさんに、寄贈手数料のみで再生パソコン等を寄贈します。2021年度の申請期間は10/8（金）～1/8（土）です！奮ってご応募ください。

【お問合せ】 reuse-mie@sub.eparts-jp.org



【多文化×災害×地域】「分野を超えてオンラインでつながる研修交流会」を行いました

9/5（日）、NPO 法人みえ防災市民会議との共催で、災害時に外国籍の方々が直面する困難について考える交流会を行いました。講師に茨城 NPO センター・コモンズ代表理事 横田能洋さんをお迎えし、2015年に発生した常総水害での外国人支援活動についてお話をいただきました。

パネルディスカッションでは横田さんに加えて、多文化共生に関わる様々な団体や当事者の方をパネリストに迎え、異なる角度からお話を聞くことができました。

それぞれの立場から、災害時にどのような支援・受援が必要か考える機会となりました。交流会終了後には、参加者同士でお互いに連絡できる仕組みを作り、顔の見える繋がりができました！

このイベントは、2020年度みえ市民活動ボランティアセンター「コーヒー寄付金」が活用されました。

【報告】



「災害時に支え合う仕組みをつくる」全県ネットワーク会議開催！

当センターでは7月からNPO法人みえ防災市民会議や自治体、各地の中間支援センターと連携をし、県内8ヶ所で「災害が起きた時に、何ができるか」を共通テーマに学習会を開催中です。各地で多様な分野の団体を交えて、意見交換をしています（写真は四日市会場）。

各地での学習会の成果を共有し、次の展開を検討する「全県ネットワーク会議」を行います！地域の課題やポテンシャルを把握し、「災害に強いまちづくり」を担う市民社会として必要なことを可視化します。NPOや中間支援組織が「平時」と「災害時」に何を担うことができるのか。一緒に考えましょう！

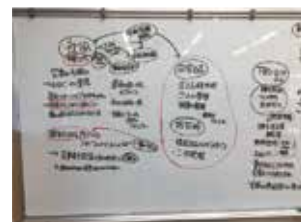
【お知らせ】

【日 時】11/23（祝）午後（予定）

【場 所】みえ県民交流センター

※状況によってオンラインで開催します。

詳細は当センターHPをご覧ください。お問い合わせください。



協創シンポジウムを開催します！

今年度は『災害に強い強靱でしなやかな市民社会に～市民の伊勢志摩サミット「提言」をふりかえり、今、未来を語りあう（仮称）』と題し、2016年の伊勢志摩サミットから5年間の災害に関する取り組みを振り返る予定です。

【お知らせ】

【日 時】12/18（土）午後（予定）

【場 所】みえ県民交流センター

※状況によってオンラインで開催します。

詳細は当センターHPをご覧ください。お問い合わせください。



みえ市民活動ボランティアセンター

〒514-0009 津市羽所町 700 アスト津 3 階

T E L 059-222-5995

M A I L center@mienpo.net

F A X 059-222-5971

H P <https://www.mienpo.net/>

最新情報を随時更新しています。
フォローよろしくお願いします！

Twitter



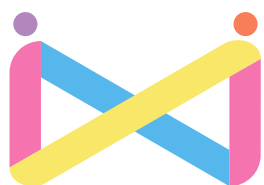
HP



Facebook



全ての
問い合わせ先



みえ市民活動ボラン



はじめに

みえ市民活動ボランティアセンターは、2001年にできたみえ県民交流センター内にある地域や分野を越えた市民活動・ボランティア活動のためのキーステーションです。

施設を利用するにあたって必要なルールを含め、利用する市民の手でつくってきました。

みえ県民交流センターは2009年から指定管理者制度を導入し、民間（NPO法人みえNPOネットワークセンター）による管理・運営に委ねられました。

団体登録

みえ市民活動ボランティアセンターを団体として利用する場合は、あらかじめ「団体登録（無料）」を行なって下さい。団体区分など、詳しくは下記をご確認ください。

団体区分		例
営 利	企 業	有限会社、株式会社など
非 営 利	行 政 非 営 利 法 人 ボ ラ ン テ ィ ア 市 民 活 動 団 体	行政、財団法人、社会福祉法人、社団法人、 学校法人、労働組合、生活共同組合、ボラ ンティア団体、市民活動団体、同好会、 NPO法人 など



センターの設置目的に合わない場合は、利用をお断りすることがあります。

- 営利を目的とするもの。（店のチラシや求人広告の印刷・配布、販売・勧誘など）
- 政治上の主義を推進また支持するもの。（政党が主催する催しのチラシの印刷・配布、特定の候補者の支持活動など）
- 宗教の教義・思想を広め、儀式行事を行い、信者を教化育成することを目的とするもの。（宗教の布教活動など）
- 個人の都合による目的のもの（年賀状の印刷など）
- 人権やプライバシーを侵害する恐れがあるもの。
- 施設、設備機器等を損傷する恐れのあるもの。
- その他、センターの設置目的である「県民の自主的で営利を目的としない社会貢献活動」に反すると認められるもの。
- 楽器、歌、ダンス、武術などの練習を目的とするもの。
- 他人に迷惑をおよぼす行為。

どんなふうに 使えるの？

市民活動に 関する相談

NPO法人格の取得やNPOの運営やボランティア活動に関してのご相談に応じます。

● NPO法人の認証に関しては…
三重県ダイバーシティ社会推進課NPO班
【問】059-222-5981
（月～金／9：00～17：00）

会議 講演会 展示会

会議や研修会のほか、展示会や講演会、講習会などの催し物会場として利用できます。



情報 収集

チラシ・ポスターコーナー、ホームページへのイベント情報掲載などを利用して、ボランティア募集、各種イベントなどに関する情報を集めることができます。

会報や チラシの 印刷など

印刷機や紙折り機、作業機を使用して、会報やチラシづくりなどに利用できます。コピー用紙は持込みか、受付で購入することもできます。

※機材の予約はできません。



ティアセンター

…を活用しよう!



施設を
予約
したい

みえ市民活動ボランティアセンターには予約して利用可能なスペースとして、交流スペース、交流スペースA、ミーティングルーム(A・B)、イベント情報コーナーがあります。
交流スペースAとはテーブル番号(6)～(8)を合わせて利用する場合を言います。

※すべて税込

団体区分	予約可能な期間	予約可能スペース	1時間あたりの料金
営利団体	6か月前から	交流スペースA	2,080円
		ミーティングルームA	1,040円
		ミーティングルームB	1,040円
非営利団体	6か月前から	交流スペース ※各テーブル	無料
		交流スペースA	310円
		ミーティングルームA	310円
		ミーティングルームB	310円



交流 スペース

①来訪、②電話、③メール、④FAX、⑤郵送いずれかの方法で予約して下さい。
・交流スペースA利用時のみ**使用申請書**が必要です。

ミーティング ルーム (A・B)

事前に使用申請書の提出が必要です。各部屋の定員は10名です。会議、勉強会、趣味の活動などは交流スペースをご利用ください。特別な事情がある場合は、ご相談に応じます。

イベント 情報 コーナー

①来訪、②メール、③FAX、④郵送いずれかの方法で予約して下さい。
20名以上の大規模なイベントは、「おしごと広場」が休みの**土・日・祝祭日のみ**使用できます。
・予約は6か月前から可能です。
・事前に**使用申請書**の提出が必要です。
・展示利用は**展示利用届**の提出が必要です。

申請書のダウンロードや施設利用の詳細は二次元コードよりご確認ください。



- 施設利用料金を減免する場合があります。 ※「施設利用料金減免申請書」が必要です。
- 予約のキャンセル・変更は必ずセンターまでご連絡ください。
- 有料利用で当日キャンセルの場合、使用料の100%を申し受けます。

● 印刷機・コピー用紙

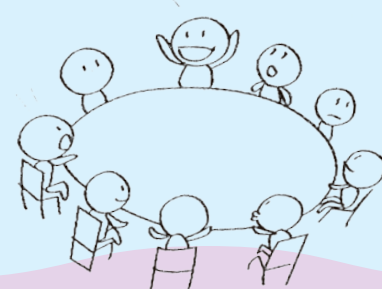
※すべて税込

印刷機	製 版	1 枚: 50 円
	インク代	10枚: 10 円
コピー用紙 (500 枚 単位)		A3サイズ: 770 円 B4サイズ: 560 円 A4サイズ: 410 円 B5サイズ: 300 円

● 印刷のときに役に立つ機材

※すべて税込

紙 折 り 機	使用料 1 回: 450 円
製 本 機	使用料 1 冊: 50 円 ※くみ製本をする のり代 1 冊: 10 円 ときの力バーはご 持参ください。
裁 断 機	無 料
カラーコピー機	白 黒 1 枚: 10 円 カラー 1 枚: 50 円



NPO寄付システム

自分で寄付先を選んで、
気軽に参加できる寄付システムです。

5つのポイント

ポイント
1

寄付先は自分で選びます

下記の「NPO寄付システム支援団体等一覧」
または、東海ろうきんホームページに掲載の
「NPO寄付システム支援団体等一覧」の中から、
寄付したい団体をお選びください。

ポイント
2

寄付金の行方が明確です

お申し込みいただくと、寄付先のNPO団体等から
年1回以上ニュースレター等の活動報告が届きます。
あなたの寄付金がどのように活かされたかが分かります。

ポイント
3

寄付は普通預金からの自動振替です

寄付金は、東海ろうきん普通預金口座からの
自動振替で、手間がかかりません。

ポイント
4

少額から気軽に参加できます

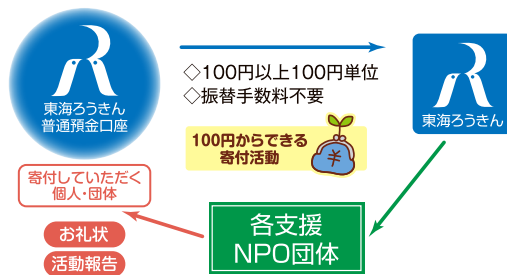
寄付額は毎月100円から(100円単位)
ご希望の金額で毎月無理なく寄付できます。

ポイント
5

振替手数料は不要です

口座振替の手数料はかかりません。

NPO寄付システムの流れ



お申し込み方法

- 「NPO寄付システム申込書」を最寄りの東海ろうきん本支店窓口までご提出ください。お1人で複数のお申し込みも可能です。(寄付先ごとに「申込書」が必要です。)
- 個人の方はもちろん労働組合等の団体単位でのお申し込みも可能です。
- 支援NPO団体の詳しい内容はホームページでご確認ください。

<https://tokai.rokin.or.jp/shakai/npo.html>



NPO寄付システム支援団体等一覧(三重県所在団体)

2021年4月現在

活動内容	団体名	所在地	団体紹介
福祉	特定非営利活動法人 あいあい	尾鷲市	介護サービスを行っています。誰もが生き生きと暮らせるよう支援させていただきます。
	認定特定非営利活動法人 とぎわ会藍ちゃんの家	伊勢市	赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが安心して暮らせる地域になるよう活動しています。
	NPO法人 はあぶ工房Together	桑名市	自家栽培のハーブやみかんを製品化&販売し、障がいのある方々の自立と社会参加を支援しています。
	公益社団法人 みえ犯罪被害者総合支援センター	津市	犯罪の被害に遭われた方々から、相談を受けたり、付添い支援などを行っています。
環境	特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会	名張市	里山保全と障害者福祉を共に実現する活動を展開。健康で楽しい時間を過ごしています。
	認定NPO法人 森林の風	四日市市	森林環境保全活動団体です。人材育成には森林教育が重要です。共に山と森を守りましょう。
育児・教育	輝く瞳 Waraひろば	鈴鹿市	子供支援の団体です。親子体験教室、子供講師主体のイベント、マルシェ等を開催しています。
	NPO法人 太陽の家	桑名市	子ども食堂や校内カフェ、子育て家庭への食品配布会など、食と居場所の支援活動を行っています。
	特定非営利活動法人 どんぐりの会	津市	乳幼児と小学生の保育・地域の交通安全活動・障がい者の就労支援をおこなっています。
	不登校生のための高校設立発起人会	松阪市	高校設立後も経済的に恵まれない在校生の学びを支援する活動を続けています。
	特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター	松阪市	子どもが自分らしく育つ権利を保障し、地域と連携して子どもと子育て家庭を支えます。
文化・スポーツ事業	総合型地域スポーツクラブ 特定非営利活動法人 楠スポーツクラブ	四日市市	気軽に参加できるスポーツ環境を作り、健康づくり・まちづくりに貢献します。



季刊誌「READER」の広告を募集しています

みえ市民活動ボランティアセンターでは、季刊誌「READER」に広告を掲載していただける企業・団体等を募集しています。季刊誌「READER」は年4回それぞれ1万部を発行しており、企業・行政・大学・NPOなど幅広く配布している冊子です。お申し込みは随時受け付けています。広告掲載を希望される方は、最下部の問い合わせ先までご連絡ください。

1 発行スケジュール

夏号 ...6 月、秋号 ...9 月、冬号 ...12 月、春号 ...3 月（いずれも 25 日に発行）

2 広告・協賛 掲載位置及び規格

種別	掲載位置	規格	内容	料金
広告（A4）	1 ページ	A4 サイズ	広告主が制作の広告。 または、写真や文字などの原稿提出後、デザイナーが作成。	下記参照

広告（A4）の料金について

種類	料金	内容
三重県内のNPO法人	25,000 円/ページ	NPO法人が行う特定非営利事業に関する内容
三重県内の 市民活動センター等	35,000 円/ページ	市民活動（支援）センターに関する情報発信など
三重県内の企業、行政	55,000 円/ページ	CSR、CSV、社会貢献的な内容、助成金など

※広告主が制作した広告（デザイン）を掲載する場合は、上記の金額から 5,000 円引きとなります。

※原則 1 団体 1 号につき 2 ページまでとなります。ただし、空きがある場合はこの限りではありません。

3 問い合わせ先

みえ市民活動ボランティアセンター

（指定管理者：特定非営利活動法人 みえ NPO ネットワークセンター）

〒514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階

電話 059-222-5995 FAX 059-222-5971

Email：center@mienpo.net



詳細については
こちらをご覧ください

助成金情報

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

みえ市民活動ボランティアセンター HPにて助成金などの情報を発信、更新しております。▶▶



日本ファッション協会 日本クリエイション大賞2021

- ① 2021年10月15日(金) 必着
- ② ジャンルを問わずクリエイティブな視点で生活文化の向上に貢献し、次代を切り拓いた人物や事象など
- ③ 大賞(楯・副賞50万円) 各賞(楯・副賞25万円)

日本河川協会 第24回水大賞

- ① 2021年10月31日(日) 当日消印有効
- ② 水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動(研究、技術開発を含む)
- ③ 大賞(賞状・副賞200万円) 大臣賞(賞状・副賞50万円)

公益推進協会「マイ基金」 おわせ元気ゆび(UBI)基金 ～子ども健全育成支援～

- ① 2021年 11月 20日(土) 当日消印有効
- ② 子ども健全育成に関わる三重県東紀州地域(尾鷲市および隣接の紀北町・熊野市・御浜町・紀宝町の二市三町)の非営利の団体・グループ(法人格の有無不問)
- ③ 1団体当たり5万円～10万円以内

朝日新聞文化財団 芸術活動への助成

- ① 2021年11月28日(日)
- ② 音楽分野、美術分野の2分野で、芸術活動・事業を主催する公益法人や非営利団体(それに準じる任意団体)、個人/公益法人や非営利団体が主催する芸術祭等に出演・出展するグループ、個人
- ③ 1件あたり10万円～100万円

ヤマト福祉財団 障がい者福祉助成金

- ① 2021年11月 30日(火) 当日消印有効
- ② 障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に取り組む福祉事業所、ボランティア団体、サークル等
- ③ 1件あたり最大100万円



特定非営利活動法人

(2021年5月10日～2021年8月9日認証分)

①法人名 ②主たる事務所の所在地 ③活動分野 ④認証年月日 ⑤代表者

- ① 特定非営利活動法人 井田海岸再生プロジェクト
- ② 南牟婁郡紀宝町井田958番地7
- ③ 社会教育、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、環境、子ども、経済活動、地域防災活動
- ④ 2021/5/21
- ⑤ 理事長 山下 宣文

- ① 特定非営利活動法人 おぼろ野
- ② 尾鷲市大字南浦1677番地1
- ③ 保健、まちづくり、学術、男女、子ども、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2021/6/25
- ⑤ 理事長 古田 幸生

- ① 特定非営利活動法人 カナエタ
- ② 多気郡大台町長ケ1317番地
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、地域安全、人権、男女、子ども、職業能力、その他、地域防災活動、障がい者の自立と共生社会、多文化共生社会
- ④ 2021/7/26
- ⑤ 理事長 長尾 知美

- ① 特定非営利活動法人 ぶてい・ぼぬーる
- ② 津市大門7番15号 津センターパレス3階 津市市民活動センター内
- ③ 保健、社会教育、学術、人権、子ども、科学技術、職業能力、その他
- ④ 2021/5/24
- ⑤ 理事長 桑木 雪美

- ① 特定非営利活動法人 さんく
- ② 鈴鹿市中旭が丘4丁目6番地7号
- ③ 子ども
- ④ 2021/7/1
- ⑤ 理事長 田川 留美

- ① 特定非営利活動法人 アシスト
- ② 桑名市大字桑部1516番地2
- ③ 保健、学術、災害、人権、子ども、職業能力、その他、地域防災活動、障がい者の自立と共生社会
- ④ 2021/6/22
- ⑤ 理事長 北郷 忠人

- ① 特定非営利活動法人 竜の森林
- ② いなべ市大安町石樽南2206番地1
- ③ 保健、まちづくり、環境、子ども、経済活動、職業能力、その他
- ④ 2021/7/8
- ⑤ 代表理事 岡 篤夫



はこちらにあります。

本誌掲載情報の転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

【地域の市民活動センター等】(津市) みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／三重大学／看護大学／三重短期大学／高田短期大学 (桑名市) 桑名市市民活動センター (いなべ市) いなべ市市民活動センター (東員町) とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市) 四日市市なやプラザ／四日市大学 (亀山市) 亀山市市民協働センター (鈴鹿市) 鈴鹿大学／鈴鹿医療科学大学 (松阪市) 松阪市市民活動センター (伊勢市) いせ市民活動センター／皇學館大学 (志摩市) 阿児アリーナ／横山ビクターセンター (名張市) 名張市市民活動支援センター／エコリゾート赤目の森／名張市立図書館／名張青年会議所／名張市総合福祉センター (伊賀市) 伊賀市市民活動支援センター／伊賀市立図書館／伊賀青年会議所 (尾鷲市) 東紀州コミュニティデザイン (明和町) めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町) 南伊勢町民文化会館 (紀宝町) 紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三十三銀行各店／東海労働金庫各店／県下JAバンク各店／メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(地域防災総合事務所[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀] 地域活性化局[南勢志摩、紀北、紀南])／三重県宋町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／三重県立こころの健康センター／斎宮歴史博物館／MieMu(三重県総合博物館)／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンテみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／三重県立熊野古道センター／各市役場／各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。